

**●「全国路地サミット2012 in おがの」の開催が間近**

来月の6月2日(土)と3日(日)に、埼玉県小鹿野町において、全国路地サミットが開催されます。平成15年の北区十条から始まり、大阪空掘、東京神楽坂、長野諏訪、静岡新居、長野・松代、神戸、新潟古町そして昨年の向島と続き、今年は10回目にあたります。

小鹿野町は埼玉県の西部に位置し、日本百名山の両神山や、江戸時代中頃から始められた小鹿野歌舞伎などが有名です。池袋駅から西武鉄道の特急で秩父まで約80分、西武秩父駅からバスに乗り継いでおよそ45分の位置にあります。

この2日間は同時に、毎年恒例の路地S.T. が開催されます。小鹿野町の地域資源である風情ある街並みや、路地を活かした地元住民による手づくりのイベントです。その1つに隈取りアートの体験があります。これは強烈で、病みつきになる人もいます。

ということで、いま地元は街をあげての熱烈歓迎の準備を整えつつあります。FAXまたはE-mailで申し込みできます。以下のホームページからお入りください。

<http://www.town.ogano.lg.jp/roji-summit/toppage.htm>

高尾 利文 (第二計画部)

**●東日本大震災とモンゴル**

2007年からモンゴル・ウランバートルのプロジェクトに参加して5年が経過した。モンゴルは、外見も国民性も似ていることもあってか、非常に親日家が多い国である。そこで今回は、一年前の東日本大震災でのエピソードをお伝えしたい。

2011年3月11日、ウランバートル市役所で打ち合わせを行っていた最中に東日本大震災が発生した。すぐに道路交通建設都市開発省やウランバートル市役所の関係者からお見舞いの言葉を頂き、ローカルスタッフからは被災地で寒い思いをしている方々に送ってくださると、カシミアのセーターを何枚も頂き、被災地に送ることが出来た。

モンゴル国の全公務員が一日分の給与を義援金に寄付してくださったことが国民にも伝わり、最終的には3億円の義援金が集まったとのことである。ある新聞記事によると、「モンゴルの1人当たりの国民所得は日本の25分の1、人口は50分の1で、「3億円」は数千億円の価値に相当する。」とのことである。モンゴルが市場経済への転換期に経済的な困難に見舞われた時に真っ先に支援してくれたのが日本だから、という理由をよく聞くが、それ以上にモンゴル人の思いやりの心を感じる。

「今回の被害は日本だけではなく地球レベルの災害です。同じ地球の家族として、我々も出来る限りの支援をさせて頂きたい。」とは、ウランバートル市役所の土地局長から我々日本人に頂いたあたたかい励ましの言葉である。国境を越えた助け合いの心に改めて感謝しながら、コンサルタントの知恵と技術で、モンゴルに恩返しをしたいと思う今日この頃である。

阿部 朋子 (海外室)

(補足) 東日本大震災に対する諸外国からの物資支援・寄付金は、2012年2月6日現在の外務省資料によると、計163の国・地域及び計43の機関が支援を表明し、うち計126の国・地域・機関から物資(63カ国)、寄付金(93カ国、総額約175億円以上)を受領したとのこと。中でも、モンゴルの支援物資は、被災直後の3月14・15日といち早く受領されている。

**●ドライブの目的地はサービスエリア**

日本で初めて高速道路が開通したのは昭和38年、粟東・尼崎間をつなぐ名神高速道路でした。平成22年には全国で約7,700kmにまで整備され、年間約16億7千万台の車が利用しています。ドライバーの休憩場所であるサービスエリアも高速道路の開通と同時にサービスを開始、その第1号となった大津SAは、琵琶湖や比叡山を臨むサービスエリアとして今も人気のスポットです。

その後サービスエリアは宿泊施設や温泉、コンビニ、野菜直売所、ドッグランと多彩な施設をラインナップし、休憩所からお土産を買ったり食事を楽しむ場所へと様変わりします。そのサービスエリアをさらにパワーアップしたのが、NEXCO東日本のパサール、NEXCO中日本のエクスパサです。それぞれ「移動の通過点から目的地として選ばれるサービスエリアへ」、「旅の途中で楽しく過ご

せ、ほっとひと息つける場所」をコンセプトにしているだけあり、こうしたサービスエリアを目指してお出かけする人も増えているのだそうです。

ということで、この4月に開通した「新東名高速道路」を紹介します。御殿場と三ヶ日をつなぐ約160kmの道路であり、13か所のサービスエリアとパーキングエリアが誕生しました。なかでもネオパーサと呼ばれる新型サービスエリアは開通とともに大きな話題になり、衣料品や車の販売、高速道路初登場のバイク用品ショップ、ペットと食事を楽しめるドッグカフェなどファミリーやカップル、グループのレジャーに便利でうれしい要素がいっぱいです。一方、職業・商業ドライバーの方のニーズに特化したパーキングエリアもオープンするなど個性豊かなラインナップになっています。

濱園 準一郎（株式会社イージスワン）